

種名	ゴ イ シ シ ジ ミ													
	Taraka hamada													
														
分類	シジミチョウ科													
形態	前翅長10～17mm。裏面は白色、大きな黒斑g愛知面に散布する。翅表は黒褐色。♀は♂より大型、翅型が丸みをおびる。前翅に白色斑をもつ個体がある。													
分布	北海道(中～南部)、本州(陰岐を含む)、四国、九州(奄岐・対馬を含む)。													
出現期	5～10 月にかけて、年4～5回の発生。寒冷地、山地では2～3回。各齢の幼虫で越冬する。													
生態	幼虫は植物につくアブラムシ類と深く係わり、成虫もその周辺にいる。低山地の雑木林から亜高山帯まで分布する。おもに曇天の日や夕方に飛ぶ。ヒメジョオンで吸蜜したり、アブラムシの蜜を吸う。													
食樹	ササコナフキノアブラムシ、カンショワタアブラムシ(ススキにつく)などを食べる。純肉食性。													
幼虫 (幼生期)	体長11mm。地色は白色、側面に黄色斑がある。背面の各節に1対の後半をもち、長毛が生える。													
出現時期	(月)	—	—	—	—	5	6	7	8	9	10	—	—	
その他														
カテゴリー	指標種													
参考文献： 検索入門 渡辺康之著 チョウ														